

平成30年度第1回瑞浪市総合教育会議議事概要

日時 平成30年11月22日(木)15時20分開会
場所 瑞浪市役所4階 全員協議会室

出席者 (構成員)

市長	水野光二
教育長	平林道博
教育長職務代理者	柴田洋子
教育委員	可児恵太
教育委員	加藤博之
教育委員	山田幸男

(事務局)

事務局長	奥村勝彦
事務局次長	工藤仁士
教育総務課長	酒井浩二
社会教育課長	大山雅喜
スポーツ文化課長	工藤嘉高
企画政策課長	梅村修司
教育総務課長補佐	鈴木友恵
教育総務課総務係	安藤みちる

傍聴者 なし

報道関係者 なし

議事日程

- 1 市長あいさつ
- 2 教育長あいさつ
- 3 報告事項
 - (1) 教育施設の課題について
 - (2) 瑞浪市のいじめの現状について
 - (3) 学校における働き方改革の進捗について
 - (4) 瑞浪市の児童数の推移について
- 4 協議・調整事項
 - (1) 大綱について
 - (2) 暑さ対策の進め方について
- 5 その他

○事務局長

ただいまから平成30年度第1回瑞浪市総合教育会議を開催する。

1 市長あいさつ

○市長

教育委員会の皆様には、日頃から児童生徒の教育環境の向上にご尽力いただき、心より感謝する。

市長部局でも大きな課題としてきた中学校の統合について、説明会等を実施し地域の理解を得ながら、ここまで進めることができた。スーパーエコスクールという環境に最大限配慮した校舎について先生方がまず充分理解し、子どもたちに素晴らしい教育をしていただくことを希望する。教育委員会には、引き続き現場へのご指導を願う。

周辺部の学校では空き教室が出始めており、学童クラブ等に使用している。市街地では逆に教室が足りなくなっている。特に明世小学校では来年度以降の子どもたちの入学に備え、3教室を増築している。

喫緊の課題として、通学路に面しているブロック塀の撤去とエアコンの設置という2つを抱えている。学校内の危険なブロック塀の撤去は完了した。今後、通学路に面した危険なブロック塀も、所有者の理解を得ながら安全の確保に努めたい。エアコン設置については、瑞浪市は幼児園舎への設置を計画的に進めており、来年の4月からは市内すべての園舎が冷房、床暖房完備となる。次は小中学校というところだったが、豊田市での事故を受け、計画を前倒しすることとした。国の臨時特例交付金を受け、12月補正予算の承認を得たら発注し、準備の整ったところから設置していきたい。

ICTについて、教育委員会から要望を受け、予算計上している。機器を有効に活用していくために、先生方が子どもより先に準備をしておく必要がある。ICT支援員の手配を考えていく必要がある。瑞浪市が遅れをとらないように配置を進めるが、教育委員会では実際に授業で活用する先生方に対する指導を進めてほしい。

皆様の忌憚のない意見をいただきながら、意義のある会議にしていきたい。

2 教育長あいさつ

○教育長

市長におかれては日頃から教育行政に対しお力添えいただき感謝する。教育振興に関わり市長と教育委員が膝を交えて話をする機会を持てたことを大変嬉しく思っている。

瑞浪北中学校の開校が5か月後に迫ってきた。北中に関係する学校だけではなく、瑞浪市の学校教育全体の質を変える大きなチャンスだと考えている。瑞浪南中学校では統合を機会にして、旧陶中学校区、旧稲津中学校区の生徒が勉強

や部活動で励ましあっている。新しい学校の中で統一性や連帯感を持って、環境整備の面において力を入れて進めていきたい。陶小学校についても校舎を移転したが、新しい気持ちで行事等に取り組むことができている。市内の小学校はこれまで中学校と連携してきたが、それぞれ単独で学校づくりを進めていくことになる。小さな学校にも行きとどいた教育環境整備をしていきたい。この会議で率直な意見交換をし、これからの瑞浪市の学校教育に役立てていきたい。

3 報告事項

○事務局長

報告事項について、市長より説明を求める。

■報告事項(1) 教育施設の課題について

○市長

報告事項(1)について、資料により説明。

○山田教育委員

瑞陵中学校のグラウンド整備等工事に関わり、現在の校舎を取り壊した後の土地の利用について案があるか。

○事務局長

平成32年に取り壊し完了予定だが、跡利用の具体案はない。地域の意見等を聞きながら計画していきたい。グラウンドについては引き続き瑞浪北中学校の生徒が利用する。

○可児教育委員

タブレットPC購入事業について、ICT機器やデジタルコンテンツをどのように活用すると、授業改善を達成できると考えているか。

○事務局次長

授業の終末で復習問題が出てくるコンテンツを利用し、個人のレベルに合わせてさまざまな問題に取り組みせることで、「できる・わかる授業」を目指していきたい。また、デジタル教科書の中には、紙の教科書と同じ写真でもクリックすると動くようなものがある。授業の導入で使うことによって、「児童生徒の興味・関心・意欲を引き出す授業」に活用したい。

■報告事項(2) 瑞浪市のいじめの現状について

○事務局次長

報告事項(2)について、資料により説明。

○加藤教育委員

平成30年10月末に中学校の認知件数44件はかなり多いのではないか。

○事務局次長

平成29年度末からいじめ解消の定義が変更され「いじめられた側が精神的・

肉体的な苦痛を感じていない」かつ「心理的・物理的影響を与える行為が最低3か月は止んでいること」となった。平成30年1月から、この新基準により積極的な認知・解決に取り組んでいることが、件数が増えた要因である。

○加藤教育委員

平成30年度の解消率も上がっているか。

○事務局次長

現在進行形のものもあるが、3か月以上前のものは解消しているという認識でいる。

■報告事項(3)学校における働き方改革の進捗について

○事務局次長

報告事項(3)について、資料により説明。

○質疑なし

■報告事項(4)瑞浪市の児童数の推移について

○教育総務課長

報告事項(4)について、資料により説明。

○市長

複式学級の基準は何名か。

○教育総務課長

1年生を含む場合は8名以内、それ以外の学年は15名以下で複式学級となる。

4 協議・調整事項

○事務局長

これより本日の議事に移る。当会議の議長については、瑞浪市総合教育会議設置要綱第4条により、市長が務めることが規定されている。これより、水野市長に進行をお願いする。

○市長

これより、議長を務める。

■協議・調整事項(1)大綱について

○教育総務課長

協議・調整事項(1)について、資料により説明。

○市長

平成30年度は第6次瑞浪市総合計画の後期計画の見直しの年となっており、その方向性が定まった。瑞浪市教育振興基本計画は、その個別計画に位置付けられており、総合計画が前期計画を踏襲することとなったため、教育振興基本計画の後期計画も同様の取り扱いとしたいというものである。ただし、実現の

ため、さらに詳細な目標、取組を取り入れた計画書を作成するというものだが、これをもって大綱とすることに異議はないか。

○教育委員会

異議なし。

○市長

異議ないものと認め、大綱として取り扱う。

■協議・調整事項(2)暑さ対策の進め方について

○可児教育委員

今年の夏は災害的な暑さであった。文部科学省は4月、学校環境衛生基準の一部改正を行い、学校教育の望ましい温度を「10℃～30℃」から「17℃～28℃」に変更した。瑞浪市にも保護者等からエアコン設置の要望が寄せられたと聞いている。現在の取組について、事務局に説明を求める。

○教育総務課長

7月19日に発生した豊田市における熱中症での死亡事故を受け、当初の計画を変更し、9月にエアコン設置に向けた設計業務委託の補正予算要求を行った。業者が決定し、平成31年3月25日までを契約期間とし、現在現場調整を行っている。10月25日には、東濃5市首長連名による「学校施設の空調（冷房）設備の設置に関する要望書」を文部科学大臣他に、瑞浪市からは総務部長が上京し要望した。平成30年度補正予算限りの国庫補助制度として、ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金の創設が発表されたため、12月議会に工事費の補正予算要求を行う。今回の交付金は事前着手事業も対象となるため、設計が整い次第、工事発注に取り掛かることが可能である。他市の取組状況を参考に、イニシャルコスト、ランニングコスト、メンテナンス等を総合的に比較、検討したうえで熱源を決定し、速やかに発注ができるよう取り組んでいる。

○可児教育委員

来年の夏のエアコン設置まで、また、エアコンのない教室や校外での活動について、市長部局と協力し、今後の進め方を協議していただきたい。

○市長

整備する順番はどのようなか。小学校から設置するのか。

○教育総務課長

学校ごとに設計を依頼している。小学生はあまり体力がついていないため、小学校から始めようと考えている。

○市長

市街地の方が周辺部より暑いなど、地域差もある。

○教育総務課長

具体的な順番は決めていないが、そのあたりも考慮しながら進めていきたい。

○市長

発注は全校一斉に行うのか。

○教育総務課長

設計ができた学校からと考えている。

○市長

全校分の発注を一社に限定するのか。

○教育総務課長

他市の状況を参考にする。すでに行った市によると、工期は4か月前後かかる。

○市長

特に来年は5月に10連休がある。それを充分活用できるとよい。

○市長

本日の議事が終了したため、議事を事務局に返す。

5 その他

○市長

幼児教育と保育の無償化について議論されている。昨年自民党の提案で、消費税増税による増収分を無償化に使いたいとのこと。その後全国市長会からも財源、制度設計等について確認をしたが、全額を国で負担すると回答をもらっていた。しかし、各市町村も消費税による増収分を保育無償化に充て、一部を負担するようという話が出てきた。全国市長会理事・評議員会の社会文教委員会で議論し、市町村の増収分は園舎の増改築や保育士の確保に利用するため、無償化については当初の計画どおり全額国で負担するよう政府に要望している。幼稚園、保育園、認可保育園、認可外保育園、ベビーシッターまで対象とし全てを無償化にするとのことだが、制度設計がはっきりしていない。年内に見通しがつくかわからず、来年度大混乱を招くのではないかと心配だが、国と地方で協議を続けていることを報告する。

○山田教育委員

瑞浪市で保育の無償化を実施するならいくら予算がいるのか。

○市長

公立、私立の保育園・幼稚園の数等、市によって状況が異なる。瑞浪市は私立保育園・幼稚園が少ないが、5千万円から6千万円負担が増える試算である。

○その他、意見等なし

○事務局長

以上により、平成30年度第1回総合教育会議を終了する。

(16:26終了)